



活動報告：1年生人権教育講演会

12月6日に、1年生対象の人権教育講演会を予定していましたが、試験日程の変更に伴い、オンデマンド動画での実施+書面での質疑応答となりました。テーマは「自分の持っている権利」で、藤根雅之先生に担当していただきました。前期科目の「ダイバーシティと人権」と結びつけながら、具体例を通して学びを深めてくれた学生が多くみられました。

1. この講演の内容を理解できましたか？
「はい」(96.5%)、「いいえ」(3.5%)
2. この講演のテーマについて新しい発見がありましたか？
「はい」(85.2%)、「いいえ」(14.8%)
3. 今回学んだことを、他の場面(他の人権課題)でも活かせると思いますか？
「はい」(85.2%)、「いいえ」(14.8%)

【学生からのコメント】(一部抜粋)

理解したこと「ルールを破るか守るかの二択で考えない事」・「フリースクールのことについて個人や周りだけのことのようにおもっていたが、社会全体としての問題なのだと理解した」

発見したこと「全ての問題の原因が自分にあるわけではなく、社会にも問題があることが発見できた。また、ルールは自分がどう生きたいのか、なにをしたいのかを周りの人たちと考えたりして築き上げることもあることを発見しました」・「普段学校に通っていると、つい、学習することが何より必要だと感じてしまうことがあるが、この講演で、学習はあくまで自分らしい生き方のためのツールであり、絶対的なものではないということに改めて気づくことができました」

その他「安心して居座るところに居座るといことは社会が排除しているということをおっしゃっていたが、この観点はいろいろな課題に応用できると思う。この言葉を聞いて、自分たちが安堵した時には見捨てているのではないかと考えたから。当たり前が誰かの人権を侵している課題に対して応用できると思う」・「講演を聞いている中でも、フリースクールの仕組みについて、自分の中にある「ふつう」の基準で評価しているということに気づくことができました。実際に説明を聞くと十分納得できるモノでも、はじめはつい、否定してしまうというこの癖を意識することができれば、他の自分の「ふつう」と違う人権問題に直面したときにもまた違った見方で解決策を見つけていけるように思いました」

活動報告：2年生人権教育講演会 &ワークショップ

2月16日に、2年生対象の講演会(中山良子先生)とワークショップ(栗本敦子先生)を実施しました。テーマは、「圧力/差別に対して声をあげる権利」で、学年末試験終了後に2時間にわたって行われましたが、集中して取り組むことができました。

講演会では、力関係を自覚するという視点や、デートDV・性感染症・刑法改正などに関する具体的な知識について学び、学生からは「自覚なくDVしてる人もいそうだった」・「性のことだけじゃなく、色んな場面で嫌なことを断ることは大事だと思う」などの感想がありました。

ワークショップでは、「差別に対して声をあげるために必要なこと」についてグループで話し合い、必要度のランキングを考えました。「権利が侵害されている事を理解できないとそれに対して声をあげる事が出来ないことを理解した」・「人によって大切にしていること大切にしていないことが違うという知識を持った上で、人とコミュニケーションを取る時に役立つと思う」・「なにか不平等なことがあって訴えるときは仲間を作ることが大切なのだと分かり、今後活かせると思う」などの感想が寄せられました。

